東郷村報

第68号
昭和32年7月5日
発行所
宮崎県東臼杵郡
東郷村役場
日向市富高
株式会社 安藤印刷所
電話64番

農業委員会委員の選挙について

東郷村選挙管理委員会

来る**七月十六日**全国一斉に農業委員会委員の選挙が行われる予定であります。今回行われる選挙は昭和二十九年七月に選挙された委員の任期満了による選挙でありますそこで農業委員会委員選挙に立候補される方に候補者として心得るべき事項を簡単に列記して関係者の参考に供したいと思います。

一、立候補準備上の諸注意

候補者となるには、先ず被選挙権を有するかどうかを、調べておくことが必要です。被選挙権の有無は、選挙期日を標準として決定されますから、必ずしも届出の当日、被選挙権を有しなければならないというわけではありません。例えば立候補届出の当日は、年令が不足していても、選挙期日迄に法定の年令（満二十才）に達すればよいわけです。

1、本村の農業委員会委員の選挙権を有する者とは、東郷村内に住所を有し、年令二十年以上で、一反歩以上の農地につき耕作の業務を営む者及び、その同居の親族又はその配偶者（年間概ね六十日以上耕作日数を有する者に限る）である者が有するわけです。同居の親族とは、社会生活上の単位としての世帯を一にし、住居及び家計を共にしている者で、親族とは六親等内の血族、配偶者、三親等内の範囲に限り、内縁の関係にある者は含まれません。

二、立候補の届出について

立候補する者は、選挙の期日の告示の日（七月九日の予定）から、選挙の期日前四日までで、選挙長に対して届出ることになつています。

届出に要する書類は、次のとおりです。

1、農業委員会委員選挙候補者届書又は同推せん届書。
2、所属党派証明書（該当者のみ）
3、候補者推せん承諾書選挙人名簿登録証明書（推せん届出者のみ）
4、農業委員会等に関する法律第八条第一項第二号の規定による被選挙権を有する旨の証明書（該当者のみ）

○その他の届

1、選権事務所の設置届選挙事務所は、候補者一人につき一カ所だけ設置できます。設置又は移動の場合は、村の選管に届出ることになつています。

尚選挙に関する各種届は、すべて午前八時三十分から、午後五時までとなつておりまして、この時間外には、受付けることはできないことになつています。

三、選挙運動について

選挙運動は他の運動と違つて、比較的自由でありますが、買収、利害誘導、選挙妨害等は、勿論処罰されます。

イ、運動期間は、立候補届出受理のときから、選挙の期日の前日まででありますから、事前運動や選挙当日の選挙運動は禁止されます。

ロ、選挙運動のために、戸別を訪問することは禁止されており、又如何なる方法を問わず、選挙運動のため、戸別に演説会の開催、若しくは演説を行うことについて告知する行為、又は特定の候補者の氏名、若しくは政党等の名称を言い歩く行為は、戸別訪問とみなされ、禁止されています。

ハ、選挙の公営は、全く行われません。ただ有料で学校、公民館、公会堂、議事堂及び選管の指定する施設で個人演説会を開催することができますが、之等の施設で、個人演説会を催す場合は、その二日前迄に、所定の様式による文書で、村の選管に、届出ることになつています。右の場合を除き、国や地方公共団体等、特定の建物では演説することができません。

尚病院や診療所では、選挙運動の演説も禁止されています。

ニ、夜間の街頭演説は、午後九時から翌日の午前六時まで禁止されています。又連呼行為は、演説会場及び街頭演説の場合においてする場合を除き、一切禁止されています。

以上、立候補について、紙面の都合上簡単に説明致しましたが、細部の点、不明の点等は、村選挙管理委員会に御問合せ下さい。

お知らせ

牧水先生が逝かれて来年は三十年になりますので、この偉大な先生の文芸を後世永く伝えるため、今回、喜志子夫人と大悟法利雄先生の手になる牧水全集が発刊されることになりました。

全十二巻で一巻五百円程度です。

牧水先生と郷土を同じくする皆さんの御家庭にこの全集だけは御備になりますことをおすゝめいたします。

希望の方は七月末日までに東郷村役場内牧水顕彰会事務局に御申込み下さい

季節保育所に思う

今年も六月中旬から下旬にかけて、寺迫、福瀬、小野田、又江野、鶴野内、羽坂、田野、越表等に、一週間乃至十日間の期間で季節保育所が開設されて、農家の労働力の上にも子供のしつけの面にも、大きな効果をあげたことはよろこばしい。

季節保育所は、昭和二十九年に二カ所、三十年は五カ所、三十一年は六カ所、本年は九カ所と、年々増設されることは、村民の方々が、季節保育所の必要性を認識されたことと、公民館長や区長、婦人会の役職員の積極的な働きかけによるもので、感謝の外はない。

しかし、各保育所の運営や、施設の状況を審に検討してみると、必ずしも同じように経営されてはいないようだ。やはり部落民の熱意に、正比例しているように思われる。

越表中水流季節保育所は、その遊びの広場は、田中利吉さんが提供され、婦人会員の手で地ならしし、スベリ台やブランコ、シーソなど、遊び道具は田中氏の寄付になり、砂場の砂は、学童が日曜日に運んで造つたものである。公民館がないので、田中さんが自宅の六畳二間を、雨の日や昼寝の場として開放されるなど、特志家や婦人会、青少年など、部落民の総力で経営されたところもあり、中には、子供が昼寝した時かける毛布などの、準備もできていないような、父兄の関心のうすい保育所もあつたようである。

羽坂保育所は、昨年もそうであつたが、今年も父兄が現物を出して、昼食のおかずを作つて、皆に与えてよい成績をあげた保育所もある。

おやつについても、何を与えることが最もよいか。子供達の腹の減り具合や、衛生的な面にも、配慮して与えたいものである。

季節保育所が、単に幼児を持つ母親達が、心配なく田圃の仕事に従事することができるばかりでなく、子供にとつては、団体生活の場であり、子供の社会性を培うよい機会であるので、これが経営には、万全を期したいものである。

——越表中水流保育所風景——

雑詠

牧水

梅雨晴の昼吹く風にしらじらと花粉をこぼす高き草立て り

みじか夜のいつしか更けて此処ひとつあけたる窓に風の寄るなり

暑かりしひと日は暮れて庭草の埃しづもり月見草咲けり

投挿の百合のつぼみの数わかずそのひとつひらくこの暁に

夏の衛生

梅雨もあがつて、いよいよ本格的な夏となりました。夏季になりますと、伝染病の流行する時期ですが、特に「赤痢」は、その発生率は本県は全国一という統計が出ています。まことに、不名誉なことであります。

近ごろの伝染病発生の状況をみますと、都市よりも農村の方が、その率が高いのですが、これは、都市に比べて農村は、施設が不完備であることも、その原因の一つでありましようが、それよりも、農村民が衛生知識が欠げていることや、公衆衛生に関する関心度のうすいことが、大きな原因ではないでしようか。

全国では、毎年八万～十万人の患者が出ていますが、その伝染病の予防費として、国では、九億の多額の金が支出されています。本村でも、昨年約四十万円支出されています。

赤痢など、夏の伝染病は菌が患者や保菌者の便とともに、外部に出てから私たちの口に入るのでありますが、その入る経路はいろいろあります。中でも食品、飲水がほとんどでありますから食品はなるだけ加熱して食べることが大切であります。また食物などに菌をはこぶものとしては、ハエ、ネズミ、アブラ虫（アマメ）などがあります。これらの駆除の徹底をはかることが肝要です。

その外常に、

1、食前や用便後は、必ず手洗を励行すること。
2、生物、生水はさけること。
3、調理を衛生的にする事
4、早期に医師診断をうけること。
5、暴飲、暴食をつゝしむこと。
6、過労や寝冷えをしないこと。

等を実行して、伝染病にかゝらぬようにつとめましよう。

病は口より入る

先進地に青年を派遣

今回、迫野内の前田福美君と、鶴野内の塩月克己君と仲野原の直野初美君の三名を、長野県の篤農家のうちに、約一カ月間委託して、先進地の農業経営の状態や青年団の運営等について、みつちり視察研究することにいたしました。本村としては初めての計画で、その成果は大きく期待されている。

堆肥の増産

堆肥増産にもつともよい時期になりました。大いに堆肥の増産につとめましよう。

郷土の「日常語」解明

海野実門

△オオゲサ
—大袈裟
意…誇大。仰山。大法螺
解…昔、印度や支那の僧侶達が伝道に出ては野に伏し、山に寐ねる為め其黒衣に纏うケサは褥代用として極めて大きかつたより出づ

△コウライ・コウライ
—高麗、々々
意…子供が珍物類を見せびらかす言動
解…三韓（新羅、百済、高麗）亡びて李氏の朝鮮となつたが「高麗」（コマ）が朝鮮の異名として永く用いられ、吾国では其渡来品を今日の泊来品の如く重宝され、自然子供らの持物誇示に用いられる。

△チグ・ハグ
—値遇反遇
意…不揃い。喰違い。具足せぬ。
解…値も遇も「逢う」と訓む。仏教の語で、前世の宿縁に因りて、現世で稀れに逢うを〝値遇の縁〟と云い、反遇は之と逆に縁無く逢へぬ意之から転じて物事の彼此入り交り不調不揃いの不満感となる。

七月の「こよみ」から

二日＝半夏至、三週間の梅雨の終る日。愈々盛夏の候となる。

七日＝「七夕」古くは五節供の一つだつたが、現在では星祭りの色彩が深い〝天の川〟を距てて相思の織女、牽牛の二つの星がカササギの助をかりて、年に一度会える日。だが若し地上に一滴の雨が降ると〝天の川〟は大洪水になつて会うことができなくなるとのこと。

星二人去年の雨を
かこつらん（子規）

十二日＝旧暦の六月十五日「祇園祭り」祭神は「すさのおの尊」である神話にでるすさのおの尊の行の数々は、夏の夕涼みにはふさわしい話が多い。

二十日＝土用の入り。二十八日は「丑の日」丑の日にはうなぎを食う日だと、むかしから言われている。夏は暑くて体力の弱る時だから、栄養百パーセントのうなぎでも食つて、英気を養う意でもあろうか。

二十一日＝各学校とも夏休みとなる。子供たちの生活がふしだらにならぬよう、健康をそこなわぬよう、父兄の指導が特に大事である。

文机に顔押しつけて昼寝哉（子規）

二十三日＝大暑、酷暑、極暑の候。自愛専一。

有線放送 お知らせ

愈々本月から有線放送を開始しました。
村の告知板のよび名で、村のニュースや行事などを

朝——　6時40分～　6時45分
昼——11時30分～11時35分
晩——　9時30分～　9時35分

応答時間
朝——8 時 5分～　8時30分
昼——11時35分～11時50分
夜——15時50分～16時

にお知らせいたします。
「村のあゆみ」の時間を、毎週水曜日と金曜日の晩9時35分～10時00分までもうけまして、農事のことや村の行政のこと、或は教育、警察、その他私達の生活に直結することがらについて放送いたします。
おきき下さいますよう、お願いいたします。

朝参供養について

延陵世鑑に

元禄三年庚午九月十九日臼杵郡山陰村ノ百姓男女千五百人、永純卿ヲ背キ秋月領内ニ出奔ス。此故、郡代梶田十郎左衛門ガ非道ヲ怨ミ、薩州ヘ亡命ノ覚悟也。コレニ依テ秋月家ヨリカケ当置テ延岡ニ知ラセ玉フ。有馬ヨリ歴々ノ侍ヲ遣サレ度々招キ玉ヘ共、色々ノ望ノ事有テ帰ラズ、コレニ依リ野中ニ小屋ヲ営ミ秋月ヨリ扶持ヲ賜ハル。遂ニ年ヲ経テ明春、江戸訴論ニ及ブ

亡命ノ頭百姓二十人、並郡代梶田十郎左衛門、代官大崎九左衛門、筆者伊東左衛門、村田長右衛門、目附野津三郎左衛門ノ輩、家老衆召連江戸評定所ニ於ニ対決アリ。然ルニ百姓共越度ト成リ、延岡ニ於テ頭取善助、市兵衛磔罪。其上男子ハ死罪。妻並女子ハ引上ゲ者ニセラル。半蔵、佐次兵衛、段助、重右衛門ハ死罪。半蔵男子ハ死罪、是ハ百姓ニ頼マレ願書ヲ認メタル者ナリ。久五郎、又次郎、関之允、庄之允、角之允、与一兵衛、太郎助、コレハ流罪ナリ。其余ノ者ハ悉ク御赦免ナリ。郡代代官ハ公儀ヨリ追放ナリ其秋将軍家ヨリ永純卿ニ、在国中領内ノ騒動宜シカラザルノ上意ニテ城地召上ラレ、重テ無城ノ地ニテ本高五万石下サルベキノ由ニテ、逼塞ナリ。

とあります。之は元禄三年今から二六七年前私共の祖先が郡代の悪政にたえ兼ねて安住の地を求めて逃散したのです。この事件の首謀者と目された人々や家内の者は、磔罪、斬罪、流罪等に処せられましたが、郡代代官も追放になり旧主も無城地糸魚川に転封になりましたので一応の目的を達することが出来ました。しかし二十名の犠牲者を出したことは誠に悲しい出来事であります。

これ等二十名の犠牲者の家族親戚は後難をおそれますものの罪におちた父や子、兄弟の冥福を祈る心はやがて人知れず朝早く菩提寺成願寺に参つたのでした。文化八年今から一四六年前大庄屋寺原和衛門と成願寺八世実門叟の両氏が追善供養の塔を成願寺境内に建立して義農二十名の冥福を祈つた。

毎年旧暦七月十七日に成願寺で供養の法会が行われ世人「朝参供養」と呼んでいる。

「朝参」は朝早く参つたことの意であるらしい。

盆行事の申合せ

東郷村新生活協議会
東郷村公民館
東郷村婦人連絡協議会
東郷村青年連絡協議会

一、盆提灯は近親者のみとし他は実質的な供物にいたしましょう。
一、中元の贈答はやめましょう。
一、慰霊祭は盛大に行い冗費をはぶき遺族に迷惑をかけぬようにいたしましょう。

夏休み中の心得

一、夏休みは子どもにとつて休養の期間

親達の中には、「休み」になると、「サア家の仕事の手伝いをさせられるぞ」と、学校の休みを家庭での利用として期待している向きもあるようだが、これは大変まちがつていると思う。どんな精巧な機械でも、使い通しにすると故障がおきる。修理も必要だし、油をさすことも必要であろう。子どもの体は、成長の過程にあるのだから、栄養、運動が必要なのと同時に休養が必要である。

二、生活を計画的に

夏休みには規則正しい生活を――ということは、子どもも親も考えながら、遂に実行されずに終つてしまうことが多い。休みの終りに味わう、この共通の悔いをなくすため、少しでも成果をあげられる計画を、みなさんと一しよに考えてみよう。誰でも気をつけねばならないことは、

1、睡眠を十分にとること。

休み中は、運動が過ぎやすいし、暑いので疲れやすい。どうしても、睡眠、休養を十分にとる必要がある。睡眠時間は年令によつて違うし、また、ただ時間だけ長くても、グツスリ眠れなければ効果がない。

イ、寝る前に飲食物をとらない。

ロ、寝室は涼しい処で暗くしてやる。

ハ、寝巻にきかえる。

ニ、体を清潔にする。

ホ、寝具を清潔にする。

ヘ、周囲の人は、静かにする。

ト、昼寝をする。

睡眠の年令別必要時間は次が標準といわれている。

年令	時間
六～七	一〇～一一
七～八	一〇～一一
八～九	一〇～一一
九～一〇	九～一〇
一〇～一二	九～一〇
一三～一五	八～九
一六～一八	八～九
一九～二〇	八～九

2、食事について

夏は飲食物に関係のある伝染病の多い時なので、食べ物の取扱いには一層の注意が必要である。

特に

イ、生の物を食べない。

ロ、暴飲暴食をしない。

ハ、腐敗したり、不消化な食べ物を食べない。

ニ、不潔な場所で売つているものを買つて食べない。

ホ、食前に手を洗う。

ヘ、食器や食べ物を取扱う時には、手を必ず洗う。

ト、食事の回数、間食の与え方を考える。

3、学習や手伝いの時間の区分

これらは一番能率的な涼しい午前中とか、夕方にあてるのがよい。また、学習や手伝いの量が、過重にならないようにする。

学習は

イ、涼しい場所で学習する。

ロ、明るい処で学習する。

ハ、正しい姿勢で学習する。

三、農村の子どもと夏休みの生活

高学年の農村の子どもたちは、この夏休みを、労働資源（手伝い人）として酷使されやすい。農村の子どもは、都会の子に比べて、健康そうに見えるかも知れないけれども、乳幼児の死亡率は高いし、また、伝染病などは農村に多い。この点から考えて、食生活も合理的ではないし、保健施設も十分でない農村の子どもには、健康生活に特に気をつける必要がある。

1、手伝いと学習時間の配分

前述したが、過労にならないことが第一である。薪取りや草刈にいくときは

イ、けがをしない心掛

ロ、「まむし」にかまれない

ハ、蜂や毒虫にさくれない

ニ、毒草などをつかんだ手で、そのまま食べ物を持たない

2、部落での保健活動

子どもたちの力で、健康な村をつくる運動を、この休み中に起したい。農村では特に重要だと思う。

イ、朝の体操会

ロ、村の道路清掃、どぶ掃除

ハ、ハエ取り運動

ニ、薬草取り

3、楽しいレクリエーション

農村の子どもは、楽しい映画や紙芝居などに恵まれていないので、部落親子常会を適当にひらいて、幻灯、紙芝居などを行つて、子どもの心気刷新をはかることが大切だ、休み中の最大の教師は親なのであるということを忘れないように。

4、ハエや蚊の駆除に協力する。

牛馬小屋などが住宅の近くにあり、水溜なども多いので、あきらめずにハエや蚊を駆除するように子どもに協力させたい。

5、休み中に子どもの病気の治療をしておく。

以上、夏休み中の心得を、保護者の皆さんと考えてみたわけですが、学校から、夏休みの生活について、いろ〳〵こまかい注意もあるので、これを守らせることに努力して下さい。

とに角、第二学期の初めに、病気で休んだり、健康のすぐれない者がいないように、夏休みを快適にすごさせることが大切である。

防犯　山陰派出所だより

◇交通事故防止について

さきに行われた春の交通安全運動第一日に木材を積んだトラックが綾町南俣の林道で雨あがりで地盤がゆるんでいたために道路のはしがくずれ、そのまま一二〇メートル下の綾川に転落、運転手と同乗者一名は即死しました

◇――なぜ、雨の日事故が多いか――◇その原因は大体次のようです。

㈠自動車側

イ、自動車の見とおしが悪くなる。

ロ、すべるためにブレーキのききが二割方落ちる。

ハ、路面がすべりやすくなる。

㈡、歩行者側

イ、かさや、づきんで見とおしが悪くなる。

ロ、注意力が足もとに集中する。

それで雨天の交通事故を防止するためにつぎの次のことを守つてください。

㈠歩行者

イ、かさやづきんで見とおしが悪く、足がすべつたりして、身体の自由がききませんから自動車に気をつけてください。

ロ、乗物から降りたときは、必ず右と左をよくたしかめてから、まつすぐ歩きましよう。

ハ、自動車に乗つたときは、運転手に飛ばさないように、ひとこと注意してください。

ニ、雨の日は近い車も遠くかすんで見えます。道路を横断するときはとくに注意しましよう。

「左手運動」をよんで

六月号の本紙にのせられた「左手運動」を読みまして、主婦である私は、日頃の私を深く反省することができました。おつしやるように、一日の勤めで、ぐた〳〵に疲れ切つて帰つて来る主人は、妻の愛のこもつた一言で、その疲れをいやすことが出来ましようし、心づくしの夕べの食卓で、明日の英気も養うことが出来るでしよう。たしかに温い家庭を作る中心は主婦の力にありましようし主婦の一言一行が家庭の明暗に大きな役割を果すことはよくわかつていてそれが実践されないところに教養の不足や修養の不足があるのでしよう。常に反省して明るい家庭の建設につとめたいものだと思つています。

たゞこの際男性の方に理解していたゞきたいことがあります。それは現在の家庭生活では主婦は心身両面ともに過労であることであります。朝は誰よりも早く起き出て、炊事にとりかゝり、食事、育児、掃除、洗濯、畑仕事等々一日を追いまわされ、夜は誰よりも遅く床につき、新聞を読む暇も見出し得ないのが主婦の一日の日課であります。こうした主婦の仕事が主人はじめ家族の人達に真に理解していただけましたら虎になる男性も少くなるのではないでしようか。

私は「主人に晩酌されては」とすゝめるのです。主人は「乃公が晩酌すれば乃公は陶然となることが出来るが、それよりも晩酌代で果物でも買つて家内中で楽しもうではないか」と申すのです。私はこの主人の考えに従つて果物や生菓子など買つて夕食の後、家内揃つていただき楽しい一ときを過しています。私は主人のこうした「ものの考え方」に対して敬意と感謝をいたしています。

私は「主人が虎になる」その責任のいちばんは主婦にあるとは思いますがそのすべてが主婦にあるとは思いません。主婦は主人の日々の務めをよく理解し一家の支柱としての主人の心労を察し、主人は妻の苦労をいたわり相扶け互に慰め合う愛と敬に基ずく家庭生活を営なんでどこの家庭からも虎を追放するようにと願つています。

（一主婦）

村民の声

田植の反省

東郷村の田植は宮崎県内で最も、ゾウラクな田植で有ると、良く言われる。根元が不揃いで深植と来ては、どんなに良い苗を作つて居ても、あまり収穫には楽しみの無いもので有らう。

何とかして、東郷村の共同田植を、本当に稲を作り出す為の共同田植にしようと考えて居ない人は無いのだが、一人一人の心の持ち方が、いつもそうでなければ、どうしても此の悪い習慣を直すことは出来ないだろう、実に美しい姿で有り、人の模範として良い程の心構えのこの農村らしいこの姿！ずつと昔は、本当の共同田植で有つた筈で。

田植を終つた後の水のかけ引きも、やはり共同で有つたのかも知れない、強過ぎる現わしかたかもしれないが、今の田植は、仕方なしの加勢田植で有るのかも知れない。

今年も、田植が終つた、過ぎた事を言つても仕方が無い、併し農業は、終つたと思つたら始まりで有り、いつ終るのかもわからない、で有つて見れば、今年の田植を反省して見るには最も良い機会で有るとも言えよう。

本当に、自分の思い通りに田植が終つた家はマア良いとして、苗の年が丁度良かつたか、植付の寸法はどうか、植方はどうで有つたか、そして自分の家の田植と他家の田植は同じ気持で植えたか、一応自分の心の中を試して見たい、若しこれが良い方の心構えでなかつた場合、「俺一人位は」と皆んなが考えた古い言いならわしの様な結果でその周囲の水田は全部と言つて良い程、悪い田植がして有るかも知れない。

一事が万事。と言う事も有る、村内にも、部落民の意見で、次第に良い方に向いて居る部落も有り、そんな所では何事も、良い方に進められて居る、一つ此の辺で考え直して、逆の方向に一つ一つ悪い根を引き抜いてグル〳〵廻つて居る様な部落の運営を直す為に、一一明るい部落を作つたらどうだろう。

生活は汗から鍬から貯金から

本年度本県の貯蓄目標は六十五億円ときまりました。

これを県民一人当りになおしますと年間五、六九八円、月四七四円、一日一六円ということになります。

がんばつて貯蓄いたしましよう。

今月の農作業

そ菜

一、種子を播くもの

1、きうり＝夏きうりは本月中に播きつけができます。直播として、六尺畦に一尺五寸株間が適当

2、だいこん＝品種はみの早生二尺×八寸の点播、心喰虫やキスジノミムシの発生に注意のこと

3、にんじん＝夏まきの適期品種は国分、中村鮮紅、赤江、金時等二尺の条播とする。発芽当時の乾燥には特に注意すること、厚まきして間引きするようにする

二、手入れするもの

1、すいか、きうり＝炭疽病、ベト病等の発生に注意し薬剤撒布を徹底すること。

2、さといも＝乾燥に弱い作物で晴天が続くと極めて生育が阻害される。敷藁、敷草をしてやること

3、ねぎ＝定植を早目に二尺×三寸栽植

家庭欄

まず手軽に出来るふとん干から

七月に入りますと、梅雨も上り暑い日が、続くようになります。

今まで、じとじとしていた身体が七月の日照りに絶えかねて、体がだるくなり病気になりやすくなつて来ます。

夏の健康は気温が高いですから、充分気をつけなければなりません。

梅雨でしめつた部屋、ふとん、衣服等、特に田植で用いたものなどは、ていねいに仕末しましよう。部屋は戸を開けて、乾いた空気を入れてやります。

ふとんを普通日光に当てますと、一合位の水分が、蒸発するそうです。ですので梅雨時期のふとんには、たくさんの水分が含まれております。

このまゝですと、夜休を休めるのに、寝苦しい思いをして、充分昼間の疲れを、回復することが出来ません。

又夏ですので、体内から汗が出て来ます。その汗を綿が吸収してしまいます。このまゝ毎日を通しておきますと、綿自体も弱くなり、綿切れがして、長持がしません。

私達の身体を健康にするには、色々ありますが、まず手軽に出来る、「ふとん干」から、明るい家庭にいたしましよう。

編集後記

◇真夏が訪ずれた。空に山に川に里に盛夏の気が満ち満ちている。空に湧く白雲、流れる朝霧、水に戯れる子等、青田の蛙声等々、すべてが夏の風物である。

◇露しげき野辺にまぐさ刈る乙女の瞳にも、田草とるおみなの顔にも、植林の下刈する青年の腕にも希望がみちている。夏の農山村は躍動している。

◇月の二十一日からは各校とも夏休みとなる学童にとつてはうれしい休みである。

学習のひまには、山に遊ぶもよかろうし川に親しむもよかろう。家業に参加することも大事なことである。

ふしだらな生活にならぬよう計画をたてそれを実行して楽しい休みとしていただきたい。

◇七月号をおくる。

汗をふく作小屋の松蝉時雨